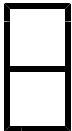


ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その2)

(1/3) ■ 商の表し方① ■

単項式の除法

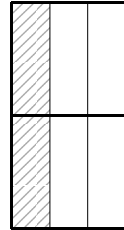
★知識の整理★

右図のように、2枚の食パンを並べて、これを3等分して、1人分の量(斜線部)を求めました。

これを、計算で表すと、

$$2 \div 3 = \frac{1}{3} + \frac{1}{3} = \frac{2}{3}$$

つまり、 $2 \div 3 = \frac{2}{3}$



と表せることがわかります。

つまり、わり算は「わる数を分母」とする分数に直すことができます。

(例) $4 \div 7 = \frac{4}{7}$, $5 \div 2 = \frac{5}{2}$, $1 \div 3 = \frac{1}{3}$, $4 \div 1 = \frac{4}{1}$

文字のまじった除法では、÷の記号は書かない。

きまり① ÷の記号は書かない

分数を含まない文字式の商は、

わられる数を分子に、わる数を分母とする分数で表します。

例えば、 $a \div b = \frac{a}{b}$ と、わる数を分母とする分数で表します。

* $a \div b$ は、 a / b とイメージし、わる数を分母とします。

[考える手順]

[答 案]

① 商は分数で表す

(1) $a \div 2$

$$= \frac{a}{2}$$

◀わる数を分母とする分数で表す

① 商は分数で表す

(2) $2a \div 3bc$

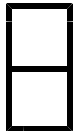
$$= \frac{2a}{3bc}$$

【注意】 $a \times b$ と ab はちがいます。

$a \times b$ は、 a と b の 乗法の式 を表します。

ab は、乗法の答である 積 を表します。

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その2)

(3 / 3) ■ 商の表し方① ■

◇ 《単項式の除法》 **学力化** → /

★演習★【1】

次の式を、文字式の表し方にしがつて表しなさい。

(1) $a \div 7$

(2) $x \div (-2)$

(3) $-3 \div x$

(4) $5 \div (-y)$

(5) $-5a \div 2b$

(6) $-2ab \div 3c$

(7) $8 \div (-xy)$

(8) $-t \div xyz$

(9) $-2ab \div (-3xy)$

【考え方】 【注意】

$$2a \div 3bc = \frac{2a}{3bc}$$

◀ $3bc$ が全体で1つのわる数になります

[答 案]

(1) $a \div 7$

=

(2) $x \div (-2)$

=

(3) $-3 \div x$

=

(4) $5 \div (-y)$

=

(5) $-5a \div 2b$

=

(6) $-2ab \div 3c$

=

(7) $8 \div (-xy)$

=

(8) $-t \div xyz$

=

(9) $-2ab \div (-3xy)$

=